

主日礼拝

1部AM.08:40 司会：平岡謙

2部AM.10:40 司会：野口千代次 (受付：青年部)

2018.07.22

賛美	一	同
信仰告白 主の祈り	一	同
聖書箇所 詩篇133:1~3	司	会者
説教	「兄弟の一致」	1部	金エシュルン先生
		2部	金エシュルン先生
献金祈禱 ①鮎川博子 ②中野恵美	代	表者
献金賛美	一	同
報告	司	会者
歓迎	新	来者
祝福の祈り	説	教者
賛美	一	同
祝禱	説	教者

今週の奉仕者・司会		礼拝奉仕	
07/25	水曜礼拝 野口千代次	献金祈禱	田中敬美
07/27	金曜礼拝 野口千代次	献金祈禱	井上拓枝
07/29	主日1部礼拝 柿添清一	感謝地区	
07/29	主日2部礼拝 田中勇		

今週の御言葉

	早	天	家庭礼拝
07月22日 (日)	エレミヤ 22	/	エペソ 02:11~22
07月23日 (月)	エレミヤ 23	/	エレミヤ 23:05~06
07月24日 (火)	エレミヤ 24	/	エレミヤ 24:06~07
07月25日 (水)	エレミヤ 25	/	エレミヤ 25:05~07
07月26日 (木)	エレミヤ 26	/	エレミヤ 26:13
07月27日 (金)	エレミヤ 27	/	エレミヤ 27:21~22
07月28日 (土)	エレミヤ 28	/	エレミヤ 28:02~04

ユダヤ人クリスチャンと異邦人クリスチャンが完全に一つになって神の家族になることです。神さまが人類を救うためにアブラハムを選びました。主は彼らをユダヤ人だと言われました。アブラハムの子孫を通して、サタンの頭を踏み砕く(創世記3:15)約束のメシヤ、イエス・キリストが来られました。イエスさまがユダヤ人である弟子たちをつくり、十字架につけられ昇天し復活されて私たちに聖霊さまを与えてくださいました。聖霊さまを通して、多くの異邦人たちに伝道し救われましたが、救われた異邦人がユダヤ人たちの代わりになったと、教会が高慢となりユダヤ人たちを無視し迫害しました。このような関係で新しいひとりの人、ユダヤ人と異邦人が一つになることはとても難しいですが、主は完全に一つにしてくださいます。「神にとって不可能なことは一つもありません」(ルカ1:37)

1. あまりにも相違あるユダヤ人と異邦人です。

割礼と無割礼の相違があり、ユダヤ人にはメシヤ観、救いの約束の契約、望みのヤーウェ神さまがありますが、異邦人にはありません。割礼を持つユダヤ人は、無割礼の異邦人を無視し、握手もせず、一緒に食事もしません。

2. イエス「キリストの血によって」(本文13節) 一つにしてくださいました。

イエス・キリストが「二つのものを一つにし、隔ての壁を打ちこわし」(本文14節)規定から成り立っている戒めの律法である敵意を廃棄してくださいました。この二つのものはイエス・キリストの十字架の血潮で意味がなくなり、イエスさまが人間となり身代わりとなって地獄の苦しみから私たちを救い出し、今ユダヤ人クリスチャンと異邦人クリスチャンが完全に一つになります。私たちはともにイエス・キリストに付く一つのクリスチャン、天の家族です

3. 異邦人である私たちは、和解させる職務があります。

異邦人である私たちは「キリストから離れ」たものでしたが、神さまのあわれみと恵みによって神さまと和解し隣人と和解する職務を与えてくださいました。私たちは、放蕩息子弟のように身代を「放蕩して湯水のように財産を使ってしまった。何もかも使い果たしたあとで、自分の父のもとに行った」父なる神さまのところに帰ってきた弟息子に「一番良い着物を着せ手に指輪をはめさせ足にくつをはかせて」(ルカ15:12-14、20、22)神さまの子としてすべての地位を回復させてくださいました。兄息子であるユダヤ人は悔い改めて父のもとに帰ってきた異邦人が肥えた子牛イエス・キリストを通して赦され癒されアブラハムの祝福・聖霊充滿・永遠の命を受けていることを見て、「兄は父にこう言った『長年の間、私はおとうさんに仕え、戒めを破ったことは一度もありません。子山羊一匹下さったことがありません』おこって家にはいろいろともしなかった」(ルカ15:28-29)旧約聖書を全て守ってきたユダヤ人たちに「謙遜と柔和の限りと尽くし、寛容を示し、愛をもって」(エペソ4:2)異邦人である私たちが近づくことが大切です。北朝鮮から脱北した人々は受けた苦しみを、日本に住むクリスチャンはそのさびしさをあかしし、長年牢の中で迫害された中国のクリスチャンにイエスさまが肥えた子牛を食べさせ、主の喜びを与え「私たちを愛してくださった方によって、これらすべての中にあっても、圧倒的な勝利者」とさせてくださったことをあかしし続け、切なる祈りと愛をもってユダヤ人たちが肥えた子牛を食べ、父なる神さまのもとに戻り祝宴に入ることを勧め続けることです。新しいひとりの人、ユダヤ人と異邦人が一つになって父なる神さまの喜びになることがイエスさまの願いです。